

広報 福岡市

8月25日

第579号

毎月10日・25日
福岡県通買郡
水巻町発行



みんなで踊りの輪

(二の公民館前広場にて)

町の人口

(60年7月末現在)

人口	29,920人(+54人)
男	14,571人(+23人)
女	15,349人(+31人)
世帯数	9,639世帯(+17世帯)
(7月の異動)	
転入	179人
転出	135人
出生	32人
死亡	22人
()内は前月比	

＊ 今月の税金 ＊

町 県 民 税 (2期分)

国民健康保険税 (2期分)

納期 8月31日まで

に恵まれた明るい健康な町

町民が見る水巻町像 ①

住民意識調査から



現在、水巻町では昭和六十一年から昭和七十五年まで、十五年先を視野に入れた町づくり「総合計画」の策定にとりかかっています。その一環として、町民の方が現在の生活環境をどのように評価しているか、町の将来をどのように描いておられるか、町民意識調査を実施いたしました。その分析を九州大学に委託しておりましたが、この程まとまりましたので、ここに、その概要を報告いたします。

なお、多方面にわたる調査項目について、真剣なご回答をお寄せいただいた町民の皆様には、まずお礼申しあげます。貴重なご意見は、二十一世紀に向けての「町づくり」に広く生かしていきたいと考えております。

調査の方法

この調査は、昭和五十六年九月現在の水巻町の世帯数八千八百三十七世帯を基準とし、約十割の抽出率で各地区に割り付けました。結果は、小学校区別に出すことにより、各地域における実態や意見の差も明らかになったと考えられます。

調査内容は、(一)定住意向と生活環境の評価 (二)水巻町の将来像 (三)具体的な施策に対する期待、を大きな柱として十八の設問を行いました。

☆通勤者の四割は自家用車で

北九州市に

通勤地についてみると、北九州市が全体の三九・五割で、中でも伊左衛小学校区は特に高く四七・六割を占めています。通勤手段は、自家用車が四八・九割と半数に達しています。

通勤先

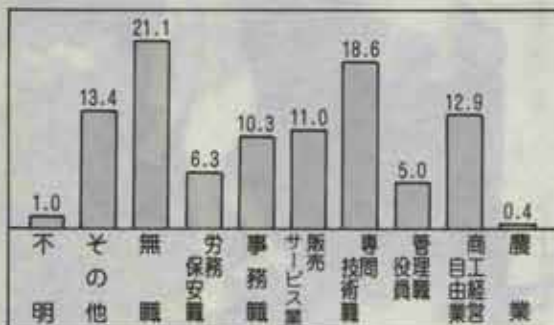


交通手段



☆無職が多く、ホワイトカラー層に偏った傾向

職業にみると、無職が最も高い比率を示しており、これは主婦による回答のためです。比較的低ホワイトカラー層に偏っている傾向がみられます。



転入者の内訳



☆住居は「持家」が半数、公営の借家も三五・八割

住居は「持家」が五二・四割を占めているが、その反面「公営の借家」も三五・八割に達しております。これは炭住の改良事業を行い、町営や県営、公団等の繰戸数が四千三百十六戸という本町の特別な事情からであります。

☆北九州市からの転居が三割 居住歴については、「他から転居」が八六割を占めており、「生まれてからずっと住んでいる」が八・三割である。「いつ頃から住んでいるのか」は昭和五十年代以降が五〇・八割と過半数を示し、「どこから転居したのか」は町内が二九・七割、北九州市からが二八・八割と、炭住の改良や住宅団地の開発に伴うものと思われる。

総合計画審議会が発足

21世紀の町づくりを目指して

○学識経験者

敬称略・順不同

〔総合計画審議会メンバー〕

現正副会長が決まり発足しました。

八月七日、第一回の審議会が開か

れた。

現在の総合計画は、昭和四十七年

に策定され、日炭閉山後の諸問題を柱

に、勤労者の住み良い住宅都市づく

りを進め、改良住宅や体育施設などの

整備を行ってきました。

今回策定する総合計画は、昭和六十

一年から七十五年（西暦二〇〇〇年）

までの町づくりの将来目標と、その実

現のための施策の基本方針を決めます。

八月七日、第一回の審議会が開か

れた。

〔総合計画審議会メンバー〕

現正副会長が決まり発足しました。

八月七日、第一回の審議会が開か

れた。

現在の総合計画は、昭和四十七年

に策定され、日炭閉山後の諸問題を柱

に、勤労者の住み良い住宅都市づく

りを進め、改良住宅や体育施設などの

整備を行ってきました。

今回策定する総合計画は、昭和六十

一年から七十五年（西暦二〇〇〇年）

までの町づくりの将来目標と、その実

現のための施策の基本方針を決めます。

八月七日、第一回の審議会が開か

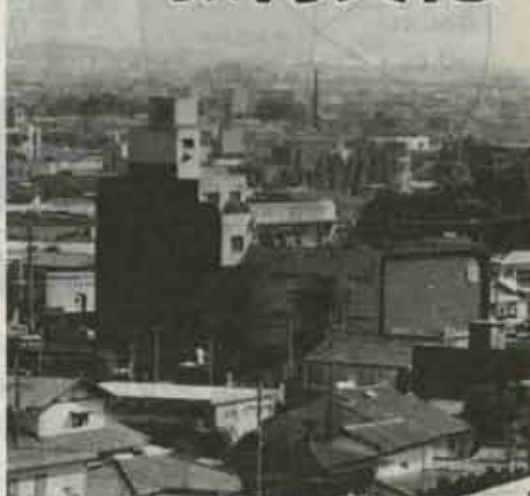
れた。

〔総合計画審議会メンバー〕

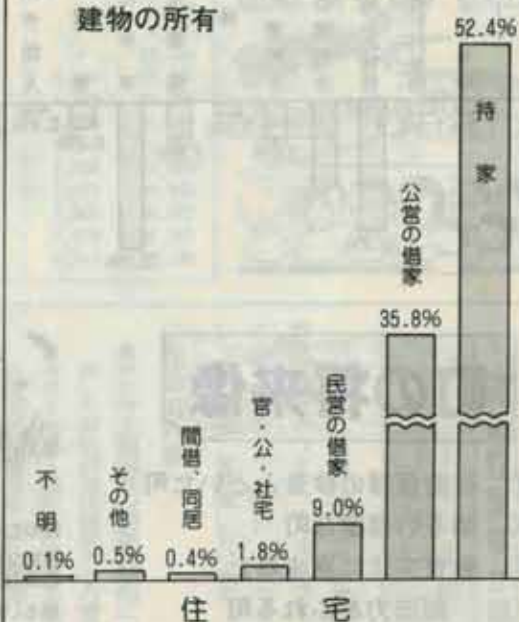
現正副会長が決まり発足しました。

町の将来は

教育文化



建物の所有



初めての審議会で町長から諮問を受ける久保田会長

- ①住まいの広さは
- ②日当りは
- ③風通しは
- ④防火については
- ⑤地震などの防災については
- ⑥間取りなどの住みやすさは
- ⑦プライバシーの保護は
- ⑧住まいの全体では

満足 やや満足 やや不満 不満

満足	やや満足	やや不満	不満

☆今の住宅に

六割の人が満足

現在住んでいる住宅について、広さ日当たり、風通し、防火、防災、間取り、プライバシーの評価をたずねた。広さについては、満足、やや満足を加えると六四・四割を示し、日当たりは七八・五割、風通しは八〇・七割と多くの人が満足しているようです。この反面、防火、防災、間取りは比較的低く、特に地震などの防災については、満足している人が四四・六割で半数以下となっています。

町政への要望

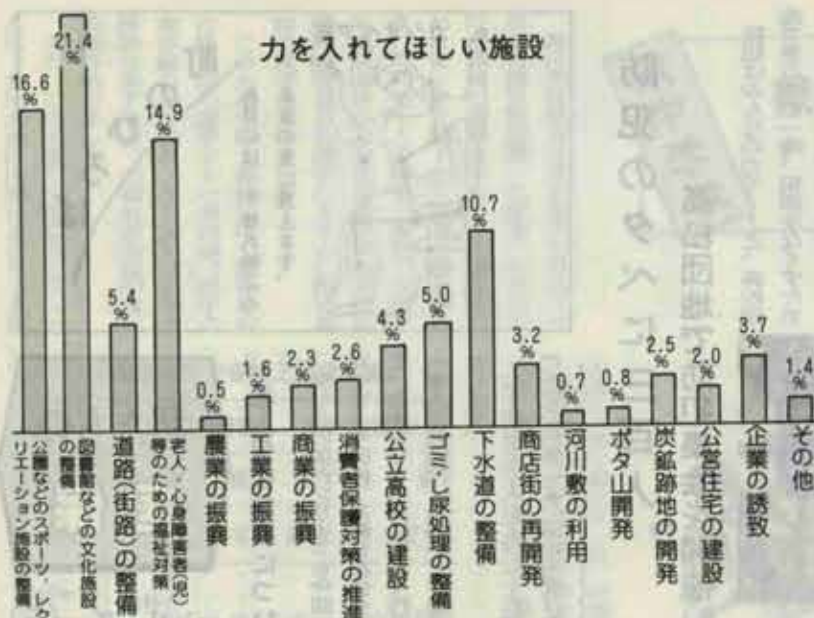
文化施設の整備が

まず必要

「水巻町にとって現在、より重要だと思われる施策は」という問いには
①図書館などの文化施設の整備二・四割
②公園などのスポーツ、レクリ

エーション施設の整備一六・六割
老人、心身障害者(児)等のための福祉対策一四・九割と、余暇時間利用のための施設や高齢者社会をむかえるに当たり、その充実が望まれています。
校区別に異なるところは、順末校区で下水道整備が一位を示している反面、机校区ではほとんど問題にされず、変わって炭鉱跡地の開発が四位にあげられています。これは机社宅の開発を望んでいるものと思われれます。

力を入れてほしい施設

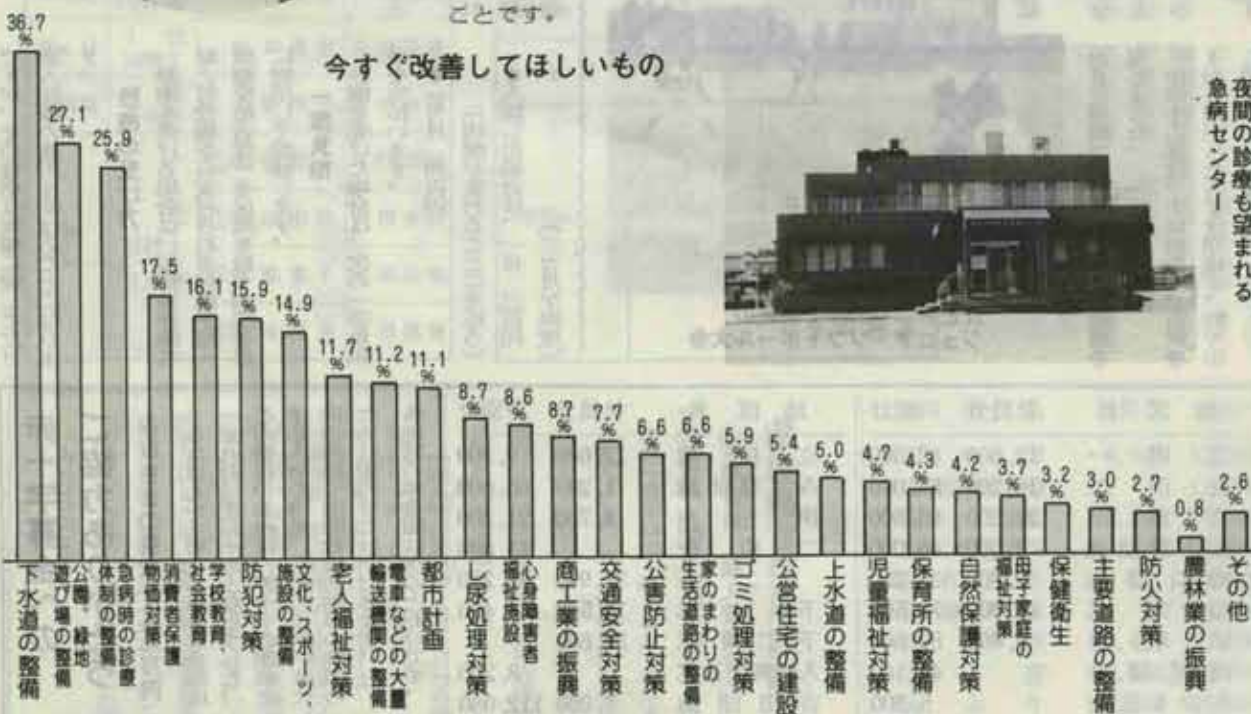


今すぐ改善してほしい

＝下水道の整備＝

「今すぐにも改善しなくてはならないと思われるもの」としては①下水道の整備36.7割 ②公園、緑地、遊び場の整備27.1割 ③急病時の診療体制の整備25.9割となっています。前者は、生活環境の整備における前提条件ともいえますが、今後計画的に進める必要があります。後者は、住民の健康づくりのためにも、また、快適な生活環境づくりのためにも重要なことです。

今すぐ改善してほしいもの



夜間の診療も望まれる
急病センター



防犯はみんなの力で——と、高松団地で夏の夜の一時、犯罪をなくすための集まりがあり約三百人が集まりました。この集まりも三回目。今回は、子供向けの防犯アニメ映画と折尾警察署の坂本隆利防犯係長の講演。芦屋町で活躍している堀章徳とハニーセレナダンスの生演奏があり、参加者全員が楽しさの中に地域の連帯を深め防犯活動推進への取り組みを新たにしました。



地区の防犯は、みんなの力で、高松団地で開かれた「防犯の夕べ」

防犯の夕べに三百人

高松団地で防犯集会を開催



九月には、午後八時ごろ北東の空に見えます。

町のひろば

私たちの国保

シリーズ ⑤

老人保健制度について

私たちの国保シリーズも今回で最終回です。今回は、高齢化社会をむかえて、お年寄りを対象に新しく作られた「老人保健制度」について、お話しします。

七十歳以上の人および六十五歳以上で所定の病状により認定を受けた人は



老人保健法により、医療を受けることになります。

この人達は、会社などに勤めていれば、健康保険などの被保険者が被扶養者、そうでなければ、国保の被保険者

になります。

ですが、その資格は医療に關してだけ老人保健の適用を受けることになりません。

診療の受け方

診療を受ける場合は、国保被保険者証と町役場から交付される健康手帳（医療受給者証）を保険を扱う病院などに提示して受診します。

一部負担

診療を受けた場合は、次の一部負担金を支払います。

●一月 四百円

●入院した場合は、一日 三百円（二カ月が限度）

（病院が変わることに支払う）

真夏の太陽の下で熱戦

ジュニア・ソフトボール大会



汗とホコリの中で熱戦のジュニア・ソフトボール大会

真夏の太陽が照りつける中、懸命にボールを追う球児たち。

八月十一日・十二日、町内から小学生十六チーム、中学生十二チーム

が参加して、第四回目的ジュニア・ソフトボール大会が開かれました。

小学生の部は、決勝で吉田ノ三を8

対6と接戦で下した下二が、三連覇を果しました。

中学生の部は、大接戦の末、古賀を4対3で下したみずほ団地が、前々年に続き二回目の優勝を果しました。

赤十字募金への協力ありがとう

みなさまの善意一五九万円

みなさんから寄せられた募金額は、一五九万二千百十円となりました。

この善意のお金は、赤十字の使命とする人命の尊重、疾病の予防、また災害援助や国際救済活動等の推進のために使わせていただきます。

各地区の募金額は次のとおりです。

地区名	社員分	戸別分	地区名	社員分	戸別分
立屋敷	12,600	42,300	立屋敷	12,600	9,800
みずほ	16,200	85,000	みずほ	1,200	66,600
吉田	27,500	85,800	伊左	8,700	21,200
吉田	1,500	46,000	伊二	27,900	15,800
吉野	9,600	35,250	下二	10,500	88,200
吉野	45,900	70,500	下二	36,600	58,400
美里	5,800	89,600	入江		8,200
美里		44,100	吉田	7,000	112,080
高尾		5,800			

南中学校

県中学総体で上位入賞

陸上部が大活躍

県中学校総合体育大会が七月三十一日から四日間開幕。久留米、大牟田市など筑後の会場を中心に十六競技が行われました。県下から地区予選を勝ち抜いた約七千人の選手が参加。六十五年福岡国体の主力となる中学生だけに、競技関係者も各選手のタイムに熱い視線で見守っていました。

この大会の陸上競技には、南中学校の陸上部の選手が十一名出場。男子の走高跳と女子四百メートル、リレーで優勝を果すなど、出場者の全員が良い成績を納めました。

また、この大会で二位以内に入った人は、九州大会に出場しました。九州



県総合体育大会陸上競技成績

総合	男子(準優勝)	女子(準優勝)	
種目	順位	氏名	住所
800m	3位 2分04秒7	安恒直樹	下二町住
100m H	4位 14秒0	吉川成一	美吉野団地
三段跳	2位 12m 95		
走高跳	1位 1m 88	瀬口植信	吉田緑風園
800m リレー	4位 1分36秒4	①副田敬二郎	吉田御輪地
		②小田 宏	下二
		③吉川成一	美吉野団地
		④瀬口植信	吉田緑風園
800m	4位 2分22秒7	片山直美	みずほ団地
80m H	2位 12秒3	坂本真実	吉田団地
走幅跳	4位 4 m 95	小形祥子	吉田分譲
400m リレー	1位 51秒4 (2連勝)	①水元聡子	みずほ団地
		②吉田由佳	吉田本村
		③服部委子	吉田団地
		④坂本真実	吉田団地

大会は八月十日と十一日、沖繩県宮城陸上競技場で開かれました。南中学校からは、五種目に七名が出場しました。

陸上競技九州大会成績

種目	順位	氏名
走高跳	2位 1m 83	瀬口植信
三段跳	6位 12m 55	吉川成一
800m	8位 2分24秒6	片山直美
100m H	5位 15秒3	坂本真実
400m	7位 51秒3	①水元聡子 ②吉田由佳 ③服部委子 ④坂本真実
リレー		

全国大会に四名が出場

中学陸上競技の日本一を決める「全国中学生陸上競技大会」が八月二十四日・二十五日、北海道札幌市円山陸上競技場で開かれます。

この大会は、全国一斉に行われた通信陸上で、標準記録を越えた選手のみ

が参加でき、各項目六十名程度の全国のトップクラスの選手が出場します。南中学校から次の選手が出場します。

▽瀬口植信 走高跳
▽小田 宏 三段跳B(四百斤、走幅跳、砲丸投)
▽坂本真実 百斤ハードル
▽小形祥子 走幅跳

県警察官採用試験

(警察官B・婦人警察官)

▽受験資格 【男子】昭和33年4月2日から昭和43年4月1日までに生まれた人。ただし、学校教育法に規定する大学(短大を除く)の卒業生、及び昭和61年3月までに大学卒業見込みの人は受験できません。

【婦人】昭和36年4月2日から昭和43年4月1日までに生まれた人。

▽受付期間 9月6日・10月5日

▽受験手続 申込用紙を各警察署及び派出所、駐在所で受け、福岡県警察本部警務課任用係に提出ください。

※詳しいことは、福岡県警察本部警務課任用係(美○九二六二二〇七〇〇又は六四一四一四一)にお問い合わせください。

地区名	社員分	戸別分
新生街	6,000	12,200
賀田東		12,000
新古賀木	10,500	79,200
梅ノ木		21,280
梅ノ木		142,100
高松団地		16,100
猪熊住	11,400	95,000
猪熊賀	3,600	40,000
古元	7,500	16,000

元気な赤ちゃん

あき よし のぞみ
秋 吉 希ちゃん

昭和59年8月3日生

(藤 司)
(多美恵)さんの長女

近頃、おてんばすぎてパパもママも手をやいています。男の子？なんて聞かれるけど——この写真、女の子らしく見えるかしら？

(吉田団地25棟)

か した な な
香 下 奈 々ちゃん

昭和59年8月13日生

(逸 男)
(逸 英)さんの長女

私、バナナが大好き。一本はかるく食べちゃうの。体はちっちゃいけど食欲は人並以上よ。毎日、元気に家の中を所狭しと動き回り、お母さんを困らせています。

(高松団地3棟)

か い ゆう た
甲 斐 雄 大くん

昭和59年8月27日生

(寿 子)
(寿 子)さんの長男

とっても愛嬌がある、ちよっと小さめの男の子です。甘えん坊だけど、僕の得意はボール投げです。ボールが大好きで、みんなから期待されてます。

(須末字西平372)

しろ いし み き
白 石 未 希ちゃん

昭和59年8月30日生

(義 勝)
(義 勝)さんの長女

チャメコケたっぷり、メチャコケ愛嬌のある私は、大のいたずら好き。きつと良い子になるからね。パパ、ママ、そろそろ弟か妹が欲しいなあー。エヘヘ……

(吉田緑風園1の37)

く どう あつみ
工 藤 歩ちゃん

昭和59年8月31日生

(悠 則)
(悠 則)さんの長女

最近、やっとなんて歩きが出来、色んな事も覚えました。周りが大人ばかりでマセてるが、皆なに愛嬌を振りまいて楽しませてくれます。元気に育って欲しいです。

(吉田団地2568)



10月1日(火)

国勢調査にご協力を



10月1日、全国いっせいに国勢調査が行われます。国勢調査は、大正9年から5年ごとに実施され、今回で14回目となります。調査の結果は、福祉、雇用、住宅、環境整備など、わたしたちの暮らしに密着したさまざまな問題について、国や都道府県、市区町村が行う行・財政施策の重要な資料として利用されます。9月下旬から10月上旬にかけて、調査員がお宅にお伺いします。で、よろしくご協力をお願いします。

水巻町の国調人口

年 度 別	世帯数	人口数(人)
大正9年	不 明	7,636
14	・	5,800
昭和5	・	9,311
10	・	12,214
15	5,336	24,740
20	5,996	28,268
25	6,550	31,386
30	6,502	32,245
35	7,628	34,927
40	7,567	30,935
45	7,305	26,977
50	7,228	24,377
55	8,615	27,196



▽応募資格

福岡県内に在住、通勤、通学して

▽作品の内容

●テーマ：福岡県の特徴を端的に表現した第45回国民体育大会の愛称
●スローガン：情熱と夢のある第45回国民体育大会の合い言葉

▽作品の募集

昭和65年に第45回国民体育大会が福岡県で開催されます。そこで県では、この大会のテーマ、愛称、とスローガン、合い言葉、を募集しています。

▽応募方法

いる人と福岡県の出身者

宮製はがき一枚に「テーマ」か「スローガン」のいずれか一点を記入(縦書き)し、簡単な説明を付けてください。一人何点でも応募できます。六十年十月五日までに

※作品の送り先、詳しいお尋ねは第45回国民体育大会福岡県準備委員会事務局(福岡市博多区東公園七十七番〇九二六四二一七五三四)へ。

第45回国体が福岡県で開催されます

テーマ「愛称」
スローガン「合い言葉」

募集

9月のし尿収集予定日

- 2日 頃末(1、2、3、4、7、10区)、猪熊6区
 3日 頃末(1、7、8、16区)、林住宅、吉田三(垣添町住)、猪熊2区
 4日 頃末(22、23区)、吉田二6区、吉田三5区、猪熊10区
 5日 吉田二(1、2区)、吉田三(2、5区)、頃末(22、24区)、猪熊3区、月2回まわり(環境整備センター)
 6日 吉田三(1、2、3、5、6、11区)、猪熊(2、4、5区)、月2回まわり(太洋社)
 7日 吉田三(緑風園)、頃末(15、25区)、新生街(山ノ口団地)、猪熊(2、3、10区)
 9日 頃末(5、17、18、19、20、21区、松栄荘)
 10日 頃末(9、10、12、18、20、21区、みずまき苑、松栄荘)下二、伊左座、立屋敷、美吉野
 11日 吉田一(4、5、6、7、8、9区、吉田工場団地)、二、下二、頃末6区、美吉野、吉田二(1、8区、川端通り、本村)
 12日 吉田二(3、4、5、6、13、14、15、16区)、頃末(11、14区)、美吉野
 13日 吉田二(3、4、5、6、8、9区、イワセ町住)、吉田一3区(月夜待)、机社宅、古賀、新生街
 14日 下二町住、二町住、吉田一(商店街)、吉田三(車返し)、古賀、机
 17日 吉田団地(37~43、46~52棟)、二町住、樋口(卯月、中井樋口)
 18日 吉田団地(19~22、27~36、44、45、53~57、86、94~101棟)
 20日 吉田団地(1~6、8~10、12、16~18、23~26、60~65、83~85、102~104、109~113棟)猪熊町住、月2回まわり(環境整備センター)
 21日 吉田団地(7、11~15、66~73、75~82、87~93、105、108棟)、古賀県住、樋口、月2回まわり(太洋社)
 24日 吉田団地分譲、下二(1、2、3区)、猪熊
 25日 二(1、2区、野間町住)、吉田二(本村)、猪熊
 26日 二、伊左座、樋口(赤水、川端通り)
 27日 二(1、2区)、伊左座(3、5区)、下二(4、10区、双葉荘)
 28日 みずほ団地
 30日 みずほ団地、樋口、猪熊
 31日 猪熊

— お 願 い —

取出口の近くには、犬をつながないで下さい。
 犬が噛みつく事故が起きています。

健康診査を受けましょう!

成人病・胃ガン・肺ガン検診

健康診断を次のとおり行いますので
 ぜひ受診しましょう。なお、肺ガン検
 診はタバコを吸っている人や、家族にガ
 ンで亡くなった方がいる人は、ぜひ受
 けて下さい。受診日7日前より痰を取
 りますので容器を取りに来て下さい。

▽日時 9月28日(土)

午前8時30分~午前11時

▽場所 猪熊公民館

▽検診内容

【二次検診】検尿、血圧測定、胸部
 レントゲン【精密検診】血液検査(貧血、血糖、肝機能、血液型、総コレステロール、中性脂肪)、心電図検査、肺ガン検査(希望者のみ)

▽料金

○二次検診は無料 ○精密検診、肺

▽期日 5月1日~10月31日

(各医院の診療時間内)

町内の各医院でも
受診できます

9月の保健ごよみ

日	曜	事 業 名	時 間	場 所
2	月	母子手帳の交付 母親学級	10:00 13:00~13:30	役場 101大会議室 役場 101大会議室
3	火	健康相談 三種混合の予防接種	10:00~11:00 13:50~14:30	机山荘 役場 101大会議室
4	水	健康相談	10:00~11:00	吉田の一公民館
5	木	健康教室	13:00~13:30	役場 101大会議室
6	金	健康相談 4ヵ月児健康相談	10:00~11:00 13:00~13:30	役場健康相談室 役場 101大会議室
9	月	母親学級	13:00~13:30	役場 101大会議室
12	木	健康教室	9:00~10:00	遠賀保健所
17	火	乳ガン・子宮ガン検診	13:00~13:30	役場 101大会議室
19	木	健康教室	9:00~10:00	遠賀保健所
20	金	療育訓練	13:00~17:00	遠賀保健所(けれきり)
25	水	三種混合の予防接種	13:50~14:30	役場 101大会議室
26	木	健康教室	13:00~13:30	役場 101大会議室
28	土	成人病・胃ガン・肺ガン検診	8:30~11:00	猪熊公民館
30	月	母子手帳の交付 母親学級	10:00 13:00~13:30	役場 101大会議室 農業団地センター

わたしたちのふるさととは、炭坑と深いつながりをもった町です。忘れ去られようとしている

炭坑の様子や炭坑にまつわる物語をみなさんに紹介していきます。

石炭物語

(5)

女坑夫の一生 (6)

大納屋頭の命令で、木刀やステッキを持った一団は、闇のなかへ消えていった。あとに残った者は提灯を消して、本川土手から曲川の間に展開した。見れば猪熊の提灯組は本川土手から曲川まで展開して、枯藁などに木刀を突き込んで次第に近づいてきた。

本川土手と曲川の間は、猪熊で広くて古賀で狭いので、搜索は袋網のようなものである。猪熊から追いあげて古賀で袋に入れるつもりであるが、その獲物は袋の口で、なかば観念せざるをえなかった。もちろん捕まれば甚三郎はサガリクモの仲間、キヨは真っ裸にされてのみせしめ、そのうえ大阪への身売りが待っていた。

ついに二人の最後がきた。猪熊の提灯組が二人の近くまで追いあげてきた。その道手は二番方の坑夫を持ち出し、それを納屋頭の若いもんが指揮していた。二人は抱き合ったまま息を殺して、ひたすら神に祈った。

すると、近くで納屋頭の若いもんが、
「太吉、おまえの前の枯藁をさがせ」
と大声で下知した。

絶対絶命……

ところが、運命の神は二人を見捨てていなかった。その太吉は半年前の落盤事故のときに、又造から一命を助けてもらった男である。二人のかくれているのに気がつく、すぐ提灯を遠ざけて声を殺していった。

「太吉だ、そのままだかんでおれ」

このようにして提灯の波は、二人を残して通りすぎて行った。ホッとした二人は、互いに流れる涙を相手の肩口に押しつけてぬぐい、背中へ回した手で喜びを知らせようと、それが鼓動となつてかえってきた。

しばらくすると太吉が警戒しながら地を這うようにして戻ってきた。

「甚三郎、ここは危ない、このあとまた土手刈りをするそう。今のうちに猪熊のお官へ逃げろ。しかし、そこも危ないので、その上に墓地がある、そこへかくれろ。明日の夜、食事を持って俺が行く、それまで動かんでおれ」

と、小声で早口にいったかと思うと、また這うようにして闇のなかへ消えていった。

それから間もなく二人は用心しながら、またもときた道を急いだ。ふりかえって軌道しの方をみると、提灯の波が土手から浮州(河原)まで拡がり、それが地獄の鬼火のように動いて、次第に遠ざかっていった。

二人は太吉のいった通り鷹見神社の石段を登り、その上の松林の墓地にかくれた。幸い、そこには薪が積んであったので、それで浜風をさせて体を休めた。ときおり松籟(松風の音)を追手と間違えて身をかめたこともあったが、そのうち昼のつかれで二人とも夢の世界へすい込まれていった。朝、小鳥のさえずるのに目がさめた。昨夜から

なにも食べてなかったもので、忘れていた腰の弁当を思い出した。山の下では登校の小学生が大きな声で、馬車のきしむ音とともに土手へ登って行く。ときおり木刀を持った若い男が徘徊しているのを見て、いずれはこも踏み込まれるものと思った。



明治末期の古賀と猪熊(道路一部推定)

また村人からいつ発見されるかも知れず、二人は早く日の暮れるのを祈り、ひたすら太吉のくるのを待った。

日がとっぷり暮れて太吉がやってきた。

「もう、ここも危ない、うわさでは明朝、猪熊の山刈りをするそう。幸い、この下に俺が天草からきたときに男衆(作男)で働いていた家がある。今でも田植や稲刈にきているので心配せんてよい。すでに話はしてある」
と、太吉は二人を連れて山をくだった。

(つづく)

(文・図) 郷土史家 柴田貞志